

あきた市議会だより

No. 149

平成25年 2月 1日



約4,800点の標本が展示されました

「ねえ、うまくできた？」～昆虫のペーパークラフトを作ってちょっとだけ春の気分～
(アルヴェの自然科学学習館で開催された「親子で学ぶ昆虫展～秋田市の昆虫大集合～」)

11月定例会の概要 2 P

平成23年度一般会計・特別会計決算を認定
議案、陳情に対する会派別の表決状況 ... 3～4 P
一般質問 5～9 P
常任委員会の審査から 10 P
2月定例会のお知らせ（予定） 10 P

2月定例会は新年度の予算を
決める議会です。
ぜひ傍聴に来てくださいね！



発行／秋田市議会 編集／あきた市議会だより編集委員会
ホームページ <http://www.city.akita.akita.jp/council/>

秋田市の家族・地域の絆づくり
キャラクター 「テツテ」

ホームページで
過去の議会だよりも
ご覧になれます

11月定例会の概要

11月30日▶▶▶12月21日

11月定例会では、平成23年度一般会計および特別会計歳入歳出決算を認定しました。また、秋田市公文書管理条例を設定する件などの条例案41件、予算案14件、単行案4件をすべて可決・承認したほか、議員提案による条例案等2件および意見書案2件を可決し、陳情2件を採択しました。さらに、人事案3件に同意しました。

主な議案

平成23年度決算

23年度の秋田市一般会計および特別会計の決算については、10月9日から12日までの4日間の決算特別委員会で審査した後、11月定例会で認定しました。決算の概要および決算特別委員会の委員は次のとおりです。

決算の概要

一般会計および特別会計の予算現額1千994億2千487万6千円に対し歳入決算額は1千909億2千366万9千円で、執行率は95・7％（22年度94・5％）でした。また、これに対応する歳出決算額は1千876億9千962万6千円で、執行率は94・1％（22年度92・8％）となり、歳入歳出差引額は32億2千404万3千円となりました。このうち24年度への繰越財源8億8千644万円を差し引いた実質収支額は23億3千760万3千円の黒字決算となりました。

決算特別委員会

委員長 小原 譲
副委員長 見上万里子
委員 菅原 琢哉
今川 雄策
川口 雅丈
小野寺 誠
堀井 明美
鈴木 知
佐原 孝夫
長澤 孝政

予算

障害福祉サービス事業運営安定化事業

障害者自立支援法における新体系に移行した障がい児（者）事業所の事業運営を安定化させるための助成に増が見込まれることから補正します。

3千520万4千円

中心市街地冬期にぎわい創出事業

中心市街地の冬期間（12月～2月）における継続的なにぎわいを創出するため、にぎわい広場をメイン会場に開催されるイベントの実施を支援します。

1千390万円

韓国ドラマ製作支援事業

平成25年1月に県内ロケーション撮影が予定されている韓国テレビドラマ「アイリス」の続編製作を支援します。

1千20万円

条例

秋田市公文書管理条例を設定

市の公文書等の管理に関する基本的事項を定めることなどにより、公文書等の適正な管理、歴史公文書等の適切な保存および利用等を図り、市政が適正かつ効率的に運営されるようにします。また、市民に市の諸活動を説明する責務を全うするため、設定しました。

施行期日 26年4月1日から
（一部25年4月1日から）

秋田市議員報酬、報酬等の額およびその支給方法に関する条例の一部を改正

市議会議員が議会等に参会したときの費用弁償の支給を廃止するため、改正しました。

施行期日 25年4月1日から

秋田市保育所設置条例の一部を改正

港北保育所の民間移行に伴い、同保育所を廃止するため、改正しました。

施行期日 25年4月1日から

人事

人権擁護委員

山本尚子氏（再任）
高井志津子氏（再任）
今野謙氏（再任）

意見書を提出しました

秋田市議会の意見として、次の意見書を、国会および関係行政庁に提出しました。

- 「ゆきとどいた教育」の前進に関する意見書
- メタンハイドレートの開発促進及び利用の早期実現に関する意見書

議案、陳情に対する会派別の表決状況①

●11月定例会の結果

() 内の数字は所属議員数。ただし、秋水会は議長を除く。

件名		秋水会 (13)	市民ク (5)	希望 (5)	公明党 (4)	共産党 (4)	フオ 21 (3)	社・市 (2)	護・わ (1)	市民み (1)	議決 結果
	◇平成23年度秋田市一般会計および特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	×	○	○	×	○	認定
	◇特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する件 ◇教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する件 ◆秋田市公文書管理条例を設定する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	◆秋田市職員定数条例の一部を改正する件 ◆秋田市職員給与条例の一部を改正する件 ◆公立大学法人秋田公立美術大学に係る重要な財産を定める条例を設定する件 ◆公立大学法人秋田公立美術大学への職員の引継ぎに関する条例を設定する件	○	○	○	○	×	○	×	○	○	
市長提出	◆秋田市指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備および運営に関する基準を定める条例を設定する件 ◆秋田市指定障害者支援施設の人員、設備および運営に関する基準を定める条例を設定する件 ◆秋田市障害福祉サービス事業の設備および運営に関する基準を定める条例を設定する件 ◆秋田市地域活動支援センターの設備および運営に関する基準を定める条例を設定する件 ◆秋田市福祉ホームの設備および運営に関する基準を定める条例を設定する件 ◆秋田市障害者支援施設の設備および運営に関する基準を定める条例を設定する件 ◆秋田市指定障害福祉サービス事業者および指定障害者支援施設の指定の申請者等に関する基準を定める条例を設定する件	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
	◆秋田市救護施設等の設備および運営に関する基準を定める条例を設定する件 ◆秋田市指定居宅サービス等の事業の人員、設備および運営に関する基準を定める条例を設定する件 ◆秋田市指定介護予防サービス等の事業の人員、設備および運営ならびに指定介護予防サービス等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例を設定する件 ◆秋田市指定介護老人福祉施設の人員、設備および運営に関する基準を定める条例を設定する件 ◆秋田市介護老人保健施設の人員、施設および設備ならびに運営に関する基準を定める条例を設定する件 ◆秋田市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備および運営に関する基準を定める条例を設定する件 ◆秋田市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備および運営ならびに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例を設定する件 ◆秋田市特別養護老人ホームの設備および運営に関する基準を定める条例を設定する件 ◆秋田市養護老人ホームの設備および運営に関する基準を定める条例を設定する件 ◆秋田市軽費老人ホームの設備および運営に関する基準を定める条例を設定する件 ◆秋田市指定居宅サービス事業者等の指定の申請者等に関する基準を定める条例を設定する件 ◆秋田市手数料条例の一部を改正する件 ◆秋田市医療法施行条例を設定する件 ◆秋田市食品衛生法施行条例の一部を改正する件 ◆秋田市旅館業法施行条例の一部を改正する件 ◆秋田市理容師法施行条例を設定する件 ◆秋田市美容師法施行条例を設定する件 ◆秋田市興行場法施行条例を設定する件 ◆秋田市公衆浴場法施行条例を設定する件 ◆秋田市クリーニング業法施行条例を設定する件 ◆秋田市児童福祉施設の設備および運営に関する基準を定める条例を設定する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

← 4 ページに続きます

議案、陳情に対する会派別の表決状況②

件 名		秋水会 (13)	市民ク (5)	希望 (5)	公明党 (4)	共産党 (4)	フォ 21 (3)	社・市 (2)	護・わ (1)	市民み (1)	議 決 結 果
市長提出	◆秋田市保育所設置条例の一部を改正する件	○	○	○	○	×	×	×	×	×	可決
	◆秋田市風致地区内における建築等の規制に関する条例を設定する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	◆秋田市営住宅条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
	◆秋田市営住宅等の整備基準を定める条例を設定する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	◆秋田公立美術工芸短期大学条例を廃止する件 ◆秋田公立美術工芸短期大学附属高等学院設置条例の一部を改正する件	○	○	○	○	×	○	×	○	○	
	◆平成24年度秋田市一般会計補正予算（第6号）に関する専決処分について承認を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	◆公立大学法人秋田公立美術大学に承継させる権利を定める件	○	○	○	○	×	○	×	○	○	可決
	◆市道路線を認定する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	◆平成24年度秋田市一般会計補正予算（第7号）の件	○	○	○	○	×	×	○	×	○	
	◆平成24年度秋田市土地区画整理会計補正予算（第1号）の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	◆平成24年度秋田市市営墓地会計補正予算（第1号）の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	◆平成24年度秋田市中央卸売市場会計補正予算（第1号）の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	◆平成24年度秋田市公設地方卸売市場会計補正予算（第3号）の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	◆平成24年度秋田市大森山動物園会計補正予算（第1号）の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	◆平成24年度秋田市廃棄物発電会計補正予算（第1号）の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	◆平成24年度秋田市国民健康保険事業会計補正予算（第1号）の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	◆平成24年度秋田市介護保険事業会計補正予算（第1号）の件	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
	◆平成24年度秋田市後期高齢者医療事業会計補正予算（第1号）の件	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
	◆平成24年度秋田市病院事業会計補正予算（第2号）の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	◆平成24年度秋田市水道事業会計補正予算（第2号）の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	◆平成24年度秋田市下水道事業会計補正予算（第1号）の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	◆平成24年度秋田市農業集落排水事業会計補正予算（第1号）の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	◆南部市民サービスセンター（仮称）建築工事請負契約を締結する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	◆人権擁護委員の候補者の推薦について意見を求める件（3件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議員提出	◇秋田市議員報酬、報酬等の額およびその支給方法に関する条例の一部を改正する件 ◇秋田市議会会議規則の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	◆「ゆきとどいた教育」の前進に関する意見書提出の件	×	○	×	○	○	○	○	○	○	
	◆メタンハイドレートの開発促進及び利用の早期実現に関する意見書提出の件	×	○	○	×	○	○	○	○	○	
陳情	◆消費税増税の中止に関する意見書の提出について	×	×	×	×	○	×	○	○	×	不採択
	◆オスプレイの配備と秋田県上空での飛行撤回に関する意見書の提出について	×	×	○	×	○	×	○	○	×	
	◆年金引き下げ中止に関する意見書の提出について	×	○	×	×	○	×	○	○	○	
	◆生活保護基準等に関する意見書の提出について	×	×	×	×	○	×	○	○	×	
	◆「教育費無償化」の前進に関する意見書の提出について	×	×	×	×	○	○	○	○	×	
	◆「ゆきとどいた教育」の前進に関する意見書の提出について	×	○	×	○	○	○	○	○	○	採択
	◆メタンハイドレートの開発促進及び利用の早期実現に関する意見書の提出について	×	○	○	×	○	○	○	○	○	
	◆子供たちを内部被曝から守るため、秋田市の学校給食の安全性を確保する対策について	×	×	×	×	○	×	○	○	×	不採択
	◆家庭ごみ用指定袋の市民負担軽減について	×	×	×	×	○	○	○	×	×	

※◇の議案（11月30日採決）については、市民クラブで1人欠席がありました。

※略記している会派の名称～「市民ク」は市民クラブ、「公明党」は公明党秋田市議会、「共産党」は日本共産党秋田市議会議員団、「フォ21」はフォーラム21、「社・市」は社会・市民連合、「護・わ」は護憲・わんぱくの会、「市民み」は市民のみかた

〔継続審査となった案件〕 **陳情** ◆介護職員処遇改善加算の継続、拡充に関する意見書の提出について

各議員の表決状況は市議会ホームページで公開しています。

秋田市議会HP

議会の日程と
議案の結果

11月市議会定例会

議員の表決状況

秋水会

かわぐちまさ 川口雅丈

◇市長の政治姿勢◇エネルギー政策◇観光施策◇中心市街地の活性化◇障がい者施策◇市立秋田総合病院の地方独立行政法人への移行◇スポーツ行政◇横町地区の再生

横町地区の再生

問 横町地区のまちづくりについて、どのように考えているのですか。また、昭和29年に計画し、整備を進めている都市計画道路路川尻広面線において未着工となっている横町工区の事業の見通しはどうか。

答 地元では、時代に合った「新たなまちづくりの方向性」を取りまとめるとしており、本市としては、地元の意向調査などにおいて行政の持っている知識を最大限に活用し、早期着工に向け地元に対して積極的に協力していきます。また、横町工区の事業の見通しについては、県から、「新たなまちづくりの方向性」の取りまとめを待って、寺町工区に引き続き事業着手する

る予定と聞いています。

スポーツ行政

問 八橋第2球技場を、雨天や積雪等の影響が少ない全天候型人工芝にするべきと考えますが、検討状況はどうですか。

答 本市では、市民ニーズを踏まえつつ、スポーツ施設の計画的かつ効果的な整備を図るため、本年度、各施設の位置付けや整備方向、整備の優先順位等を考慮した今後の整備方針を定めています。八橋第2球技場については、全国レベルの大会やスポーツ合宿等を誘致可能な拠点施設として位置付け、今後計画的な設備等の更新や施設機能の向上を図ることとしており、人工芝化も含め、整備に向けた検討を進めています。



八橋第2球技場

市民クラブ

みかみ まりこ 見上万里子

◇市長の政治姿勢◇秋田公立美術大学◇女性の能力を生かす、女性に優しいまちづくり◇「秋田美人」を利用したイメージPRのあり方◇観光PR◇健康な食生活を送るための食の健康づくり応援店：ほか

中心市街地活性化

問 にぎわい広場で飲食を伴うイベントを継続して実施するには、出店を容易にするための環境整備が重要ではありませんか。

答 飲食を伴うイベントを行う際には、内容によって食品衛生法による営業許可が必要となります。その要件を満たすため、厨房を備えた建築物等の設置を求められるケースがあり、原則として一時的な建築物の設置でも、建築基準法による手続きが必要となります。一方、にぎわい広場での飲食を伴うイベント開催は、来場者に喜ばれ、多くの集客が見込めることから、今後、広場の管理者と共に、イベントの計画段階から関

係機関や団体への手続き等をサポートする体制を構築し、主催者が出店しやすい環境整備に努めます。

入札制度

問 保護観察対象者の再犯防止につなげるため、雇用協力事業者に対する本市入札に係る優遇措置として、入札参加資格審査の加点对象とし、また、総合評価落札方式の評価項目に追加しはどうか。

答 市内建設業者を等級格付けする場合の審査項目および総合評価落札方式において加算する評価項目は、地域の発展に貢献しようとする業者が成長できる環境の実現を目的に、平成22年2月に立ち上げた庁内検討委員会が検討したもので、消防団協力事業所や障がい者雇用など地域貢献等に関する8つの項目を決定しました。事業者が保護観察対象者を雇用することは、社会的貢献が大きいものですが、本市の審査項目等に加えることは、制度導入時の趣旨に照らし、今後の見直しに合わせて検討します。

●本会議の全日程を生中継しています

本会議は、秋田ケーブルテレビ（デジタル122ch）と、市議会ホームページの動画配信により、全日程を生中継しています。開始時間は、午前10時を予定していますが、都合により遅れることもありますので、ご了承ください。

2月定例会の日程（予定）は、10ページをご覧ください。



希望

小松 健

◇危機意識で臨もう、市政経営
◇コミュニケーションでつくる、
元気な地域社会◇未来につな
がる、まちづくり◇目指せ、「健
康長寿日本一」◇整えよう、就
労環境：ほか

社会保障制度

問 年金、医療、介護およ
び生活保護の各制度にかか
わる構造的課題に対すると
らえ方と今後の国への対応
はどうか。

答 公的年金は、制度に対
する不信任により保険料納
付率が低下しており、加入
者が安心できる制度を検討
している国の動向を注視し
ていきます。医療保険は、
高度な医療技術の普及等に
より医療費が増大しており、
すべての国民を対象とした
安定した制度が必要と考え
ます。国民健康保険は、年
齢構成が高く所得水準が低
いという構造的課題を抱え、
厳しい運営状況にあり、ま
ずは国の責任において財政
基盤の強化を図った上で、
都道府県を保険者とする制

度への再編などを行うよう
要望していきます。介護保
険は、要介護者の急増によ
り給付費が増大しており、
将来にわたって持続可能な
制度への見直しが必要と考
えます。また、生活困窮者
対策と生活保護制度を総合
的に見直す、生活支援戦略
の策定における、地方の意
見を反映させる意見交換会
等の開催動向を見守ってい
きます。

高齢者対策

問 高齢者が生き生きと輝
き、社会の担い手として活
躍できる環境および仕組
みづくりに、どのように取
組んでいくのですか。

答 超高齢社会を迎え、「人
生90年時代」を前提として、
高齢者は元気に地域で活躍
し、誰もが豊かな人生を享
受できる地域社会の実現を
目指す必要があります。本
市では、高齢者が豊富な知
識や経験を生かせる社会づ
くりを進めるため、今後も、
高齢者同士の支え合いを促
進する介護支援ボランティア
制度などにより、生きが
い創出と元気な地域社会づ
くりを進めていきます。

日本共産党秋田市議会議員団

佐藤 純子

◇林業再生と木質バイオマスエ
ネルギーの活用◇農業振興と6
次産業化の取り組み◇生活保護
◇高齢者福祉の充実：ほか

市長の政治姿勢

問 農業だけでなく多くの
分野の市場開放が求められ
るTPPへの参加が、本市
の経済および市民生活にも
たらす影響について、どの
ように考えているのですか。

答 TPPについては、交
渉21分野すべてにおよぶ詳
細な情報の提供がされてい
ないため、その影響を的確
に把握することは困難です
が、政府の見解として各分
野のメリット・デメリット
が整理されており、物品の
輸出入や知的財産、労働、
食品の安全基準など多方面
に影響があると認識してい
ます。現在、TPP交渉参
加国は平成25年10月の基本
合意、同年末の妥結を目指
して交渉を継続する予定で
す。今後、国民の負託を受
けた政権は、民意を踏まえ、

長期的な国益の観点から責
任を持って参加の是非を判
断すべきと考えています。

国民健康保険制度

問 国民皆保険として施行
された国民健康保険制度は、
相互扶助の制度ではなく、
憲法第25条に基づき国が責
任を持つ社会保障制度と思
いますが、どのように認識
しているのですか。

答 国民健康保険は、国、
県および市町村からの負担
金などが交付されているも
の、当該市町村に住所を
有する者を被保険者とした
上で、世帯主に所得等に
応じた保険税の納付を義務
付け、療養などに対する必要
な保険給付を行うことから、
相互扶助の精神に立脚した
制度であると認識していま
す。



● 請願・陳情の提出について

請願書・陳情書は趣旨を具体的に記載し、提出年月日、提出者（代表者）の住所を記載、氏名については署名または
記名押印の上、定例会の招集日の3日前（市の休日は算入しません）の午後5時までに議長あてに提出してください。
ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせください。

公明党秋田市議会

まつだ 豊臣

◇地域経済の活性化◇防災・減災対策◇廃棄物処理◇聴覚障がい者支援◇脳脊髄液減少症◇子ども・子育て支援◇フードバンク◇除排雪対策◇地域の諸課題

聴覚障がい者支援

問 聴覚障がい者世帯の火災予防を促進するため、専用火災警報器設置への助成・支援策を拡充すべきではありませんか。

答 専用火災警報器については、これまでも、通常の火災警報器では対応が困難と思われる重度の聴覚障がいのある方の独居世帯等を対象に設置しているほか、総務省消防庁の補助事業により、聴覚障がい者のいる生活保護世帯を対象に無償設置を進めています。今後は、現行の助成制度の周知に努めるとともに、制度の拡充については、その有効性や公平性等の問題もあることから、聴覚障がい者世帯の設置状況を調査し検討したいと考えています。

フードバンク

問 食品関連事業者が食品廃棄物等の発生を抑制するため、賞味期限近の食品や食品衛生上問題がない規格外品および余剰生産物をフードバンク活動（※1）へ寄贈する取り組みが増えていることから、市として食品関連事業者等と連携しながらその体制づくりを支援すべきではありませんか。

答 フードバンク活動は、食品廃棄物の削減による環境負荷の軽減や余剰農産物の有効活用、福祉施設等への食品提供による社会福祉貢献等の効果がある一方、現状では活動の認知度が低いことや、食品の安全性と安定的な確保等の課題も少なくないと認識しています。この活動が普及・定着するためには、食品関連事業者、農業関係者、福祉関係団体および運営主体となる団体等、関係者のニーズと合意が必要です。国はこの活動を推奨していますが、本市では、関係者のニーズや気運の高まり等を勘案しながら、支援の必要性等について研究していきます。

フォーラム21

さ 原 孝 夫

◇市政経営◇家庭系ごみの有料化に係る諸課題◇食品廃棄物の減量・リサイクル◇港湾を取り巻く諸課題◇教育行政◇地域の諸課題

港湾地区の道路整備

問 港湾地区の一般道において大型車の通行量が増加していますが、安全対策、騒音・振動対策および計画的な道路整備や補修についてどのように考えていますか。

答 港湾地区の大型車の増加への抜本的な対策として、都市計画道路大浜上新城線や秋田港四ツ屋線などの幹線道路の整備が必要であると認識していますが、近年の公共工事予算の大幅な削減等により、早期の事業着手は困難な状況にあります。このことから、当面の歩行者安全対策として、浜ナシ山踏切の拡幅整備などを検討しているほか、道路パトロールや市民からの通報を基に、道路の損傷状況を確認しながら、全面的な改修

家庭系ごみ有料化

問 家庭系ごみの有料化に伴い、新しく指定されたごみ袋の強度が弱すぎるとの声があることから、もう少し使い勝手のよいものに改善するべきではありませんか。

答 現在販売されているごみ袋は、市民要望を踏まえ、有料化前のものと比べて厚さの規格を0・025ミリメートル以上から0・03ミリメートル以上と厚くしています。また、形状についても、各家庭での利便性を考慮し、平袋とU形袋の2種類を規格として定めていることから、今後の推移を見守っていきます。



有料化後のごみ袋

※1 フードバンク活動…食品企業の製造工程で発生する規格外品などを引き取り、児童養護施設、障がい者福祉施設やホームレス支援団体などに無料で提供する活動。

市民のみかた

佐藤 哲治

◇市長の政治姿勢◇財政◇にぎわい創出と地域活性化◇認知症対策◇放課後児童クラブ◇自然エネルギーの活用◇観光戦略◇公共交通◇市立秋田総合病院の役割◇学校教育の充実◇小学校通学路の緊急合同点検◇災害対策◇社会福祉法人に対する指導監査

公共交通

問 市内を運行するすべてのバスの運賃を年齢制限なく100円のワンコインとすることで、利用者の増加につながり、本市全体の活性化が望めるではありませんか。

答 本市では、平成23年10月から、高齢者の社会参加の促進を図るため、70歳以上を対象とした高齢者コインバス事業を実施しています。また、昨年7月には、中心市街地のにぎわい創出のため、年齢制限なくワンコインで乗車できる中心市街地循環バスの実証運行を始めました。一般的に、年齢制限なく市内全域をワン

コインとすることは、バス事業の経営の根幹にかかわる問題であり、現在から将来にわたっての利用者動向や採算性などを詳細に分析し、バス事業者が検討・判断すべきものと考えています。

通学路の安全対策

問 小学校通学路における危険箇所の点検結果はどうでしたか。また、今後はどのような対策を講ずるのですか。

答 緊急合同点検の結果、各小学校から報告された危険箇所93カ所について113件の対策がまとまりました。そのうち路側帯白線の引き直しなどの25件はすでに実施済みで、残り88件のうち、防護柵の設置や歩道のカラー塗装など、実施時期が決まっている対策が51件、押しボタン信号機や横断歩道の設置など、実施時期を別途検討する対策が37件となっています。今後は、残された対策が着実かつ計画的に実施されるよう関係機関と連携し、通学路の安全確保に努めます。

秋水会

岩谷 政良

◇平成25年度予算◇国際交流◇第29回国民文化祭◇新庁舎◇今冬の除排雪対策◇社会資本の保全と長寿化対策◇子ども支援策◇教育行政

国民文化祭

問 国民文化祭は地域の活性化も期待できる催しであり、全国から集まる来訪者をいかにおもてなしするかがその成果に大きく影響すると思いますが、どのように考えているのですか。

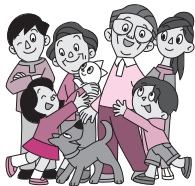
答 平成26年度の開催期間中は、駅や空港での茶道、華道によるお出迎えや、ウェルカムステージの設営などの計画があるほか、秋田駅に特設案内所を設け、秋田の観光情報を提供するとともに、各会場を結ぶシャトルバスを運行する予定です。来年度は、市民一人一人におもてなしの心をはぐくんでいただけるよう、プレイベントやデスティネーションキャンペーンなどに合わせ、おもてなしをテーマとした講演会やワークショップ

プなどを実施します。

子ども支援策

問 本市の成長戦略の一つである次世代の育成支援のために打ち出した新たな子ども支援策は、どこに視点を置いて拡充することにしたのですか。

答 新たな子ども支援策は、子供たちの健やかな成長と子供を生み育てやすい環境づくりを進めるため、低所得者層へ配慮しながら、市民からの要望が強い事項にこたえつつ、関連施策全体での効果を高める視点で、子育て支援策を総合的に拡充するものです。具体的には、子供の福祉医療制度の拡充、病児対応型保育（※2）などを実施します。さらに、在宅子育てサポートのメニューに大森山動物園の年間パスポートを加えるなど、親子の社会参加と心身のリフレッシュを支援します。



※2 病児対応型保育…病院・保育所等の付設の専用スペースで、看護師等が地域の病児（10歳未満）を一時的に預かる事業。

市民クラブ

わたなべ 良雄

◇県都『あきた』成長プラン及び県都『あきた』改革プラン◇
監査◇活力ある農村集落に向けた課題◇新庁舎に係る諸課題◇
公契約基本条例◇教育行政◇農
林業問題◇地域の諸課題

監査

問 市の事務の増加や複雑化が進む中でミスが多発していますが、現在の人員体制で実効ある監査ができていると認識していますか。また、未収金や不納欠損に対する指導はどのようにしているのですか。

答 本市の監査は、財務管理・経営管理その他行政運営に関し識見を有する監査委員と、行政実務経験と監査研修で培われた専門的知識を持つ事務局により、正確性、合規性、経済性等に重きを置いた監査を実施していること認識しています。また、未収金については、滞納状況の個別具体的な確認および徴収に向けた債権管理方針の明確化を指導し、不納欠損については、どう

しても徴収困難な場合には適法かつ合理的に欠損処分することも必要との認識に立ち指導を行っています。

農林業問題

問 バイオマス工場の誘致決定に合わせ、木質バイオマスの公共施設での利用促進を図るとともに、家庭用ペレットストーブの普及に向けた対策および支援を講ずるべきではありませんか。

答 ペレットストーブの普及を図るためには、年間を通じて大きな需要を確保し、ペレットの価格を低減させていく必要があります。このため、市としても、全庁的に冷暖房設備等の調査を実施し、ペレットボイラーの導入に向けて検討しているところですが、普及のための支援策については、ペレットの宅配や灰の回収システムの構築を図るとともに、ペレットが求めやすい価格になるなど、一定の環境が整った段階で検討したいと考えています。

秋水会

さいとう 善悦

◇市長の政治姿勢◇第12次秋田市総合計画県都『あきた』成長プランにおける成長戦略◇公共施設等の管理・活用◇空き家対策◇教育行政◇農業振興◇地域の諸課題

農業振興

問 秋田市農林水産業・農業振興基本計画で計画的に実施する必要があるとしている農業生産基盤の整備促進は、どのように進めているのですか。

答 ほ場整備や稲作基幹施設などの事業化には、将来の営農ビジョンを基にした整備計画が必要であり、地域の合意形成が重要な課題です。本市では、事業を要望する地域で、県などと連携して説明会を開催していますが、関係者の考え方や経営事情がさまざまであり、地域の合意形成には時間を要しています。今後は、未整備地域を中心に、地域の日ごろの話し合いにより合意形成が図られるよう、事業メリットなどの情報提供

を積極的に行い、早期の事業着手に向け、県・市・農業団体が一体となって支援活動を行っています。

観光

問 国民文化祭を契機とし、秋田城跡、地蔵田遺跡、如斯亭庭園を生かした観光の取り組みを行うべきではありませんか。

答 平成26年度の国民文化祭開催時において、如斯亭庭園は修復工事に着手しており、観覧に供することは困難な状況です。一方、秋田城跡は、政庁域や外郭東門、古代水洗厠舎などの復元施設の主要域を、また、地蔵田遺跡は出土品展示施設と復元集落を一体的に見ていた状態となっています。本市の文化財は貴重な観光資源であることから、文化に関心を持った県内外からの来訪者に、より興味を持っていただけるような文化財を巡る観光ルートを設定し、あらゆる広報媒体を通じて、観光情報の発信に努めていきます。

議会の動き

11月5日 各派会長会議
9日 議会活性化第二検討会
12日 各派会長会議
13日 厚生委員会
16日 議会運営委員会
議会活性化第一検討会
22日 議会活性化第三検討会

11月30日 11月定例会
(12月21日まで)
各派会長会議
12月21日 編集委員会
1月7日 編集委員会
10日 議会活性化第一検討会
議会活性化第二検討会

1月10日 議会活性化第三検討会
15日 議会運営委員会視察(16日まで)
16日 編集委員会
22日 各派会長会議
24日 総務委員会
29日 厚生委員会
建設委員会

常任委員会の審査から

各常任委員会での主な質疑応答です。

総務委員会

総務部、企画財政部、会計課、消防本部、選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会、公平委員会等の所管事項

委員 エリアなかいちにおいて、イベントを持続的に開催していくための民間事業者の組織体制づくりの現状をどのようにとらえているのですか。

企画財政部

7月のオープン以降、行政主導や民間事業者独自のさまざまなイベントが行われており、にぎわい創出に一定の成果を上げてきました。今後、持続的にイベントを開催するためには、企画・立案に関する民間事業者への支援はもちろん、民間事業者が互いに協力し、にぎわい創出に取り組む組織体制づくりが重要であると考えています。現在開催している「なかいちウィンターパーク」も、民間事業者みずから企画・立案・実施している事業であり、組織体制づくりの試行的な取り組みととらえています。

厚生委員会

市民生活部、福祉保健部、保健所、子ども未来部、市立病院の所管事項

委員 病院法人移行準備経費について、市立病院の地方独立行政法人への移行に向けて、コンサルティング業務を委託するとのことですが、委託業務はどのような内容ですか。

福祉保健部

委託業務には、大きく4つの支援業務があり、そのうちの組織制度・中期目標作成支援業務、財務会計制度構築支援業務、財務会計制度構築作成支援業務については、現状調査に加え、全体作業に関するロードマップの作成や各種情報収集を委託しようとするものです。また、財務会計システムおよび人事給与システム導入支援業務については、全体作業に関するロードマップの作成、システム調達仕様書の原案作成およびプロポーザル実施要領の原案作成の支援を委託しようとするものです。

教育産業委員会

商工部、農林部、秋田公立美術工芸短期大学、教育委員会、農業委員会の所管事項

委員 韓国ドラマ製作支援事業において、本市におけるロケーション撮影を支援するために1千20万円を計上していますが、このような事業を実施する際の予算について、算定基準はあるのですか。

商工部

ロケーション撮影の誘致は従来から県と共同で取り組んでいます。予算については、制作会社が県に示した要請に因應するためにはどのくらいの経費が必要か、作品の規模や撮影日数を勘案し、県と協議した上で決定していることから、作品ごとに異なるものです。



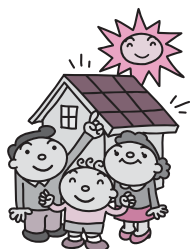
建設委員会

環境部、建設部、都市整備部、上下水道局の所管事項

委員 住宅用太陽光発電普及促進事業について、補助申請件数が増加する見込みとのことですが、平成22年度と23年度の申請件数の比較では横ばいであったのに対し、今年度特に増えた要因をどうとらえているのですか。

環境部

再生可能エネルギーに関するマスコミ報道等により、特に、震災以降は、再生可能エネルギーの需要とともに、市民の関心が高まっています。そうした社会全体の動きが市民の太陽光発電システム設置につながっているものと認識しており、事業者側の懸命なPRとも相まって、補助申請件数が増加しているものととらえています。



2月定例会のお知らせ（予定）

日 程

2月15日	本会議
27日～28日	本会議「代表質問」
3月1日	常任委員会
4日～5日	本会議「一般質問」
6日～12日	常任委員会（土日除く）
15日	本会議

代表質問者

～各派交渉団体（3人以上所属の会派）を代表して質問します。

鎌田修悦（秋水会）、相場金二（市民クラブ）、鳥井修（希望）、堀井明美（公明党）、佐藤広久（共産党）、伊藤巧一（フォーラム21）

一般質問者

津谷聡・小原譲（秋水会）、加賀屋千鶴子（共産党）、長澤孝政（社会・市民）

※日程および代表・一般質問者は変更になることがありますので、議会事務局までご確認ください。